

本町の畜産クラスター事業

桜井崇裕 議員

①計画作成段階に入っていると思われるが、生産者からどのような要望があるか。

②TMR（混合・完全飼料）センター等をクラスターの中で考えては。

③糞尿対策として、バイオマスプラント計画はあるか。

④酪農ヘルパー等の人材育成や、担い手支援の考えはあるか。

高薄町長

①農協から44戸87機種にわたる機械のリース事業への要望があり、このうち24戸20機種の貸し付けが決定している。

ハード事業では、施設整備に関わってパーラーやフリーストールの関係で31戸の要望がある。

②町の畜産クラスター計画の構成員である企業が

TMRの役割をしている。③現在、導入に向けた事業化可能性調査を実施しており、町全体で計画を作成し、実施に向けて進めていく。

④酪農ヘルパー組合は農協の組織であるが、町としても研修体制など新規就農も含めてサポート体制を考えていく。

森林認証制度

桜井崇裕 議員

十勝の民有林では、森林組合、市町村、山林所有者などで構成する「とかち森林認証協議会」が設立され、認証取得に取組もうとしている。

本町の町有林について、参加の考えがあるか伺う。

高薄町長

この認証制度は日本独自ののものであり、世界的に認められる制度になっていない。現段階では全道のな取り組みではなく、

更新時期までの5年で検討はするが、会費が非常に高く、本町には特別なメリットがないことから参加を見合わせている。

税収入の現状と今後の見通し

原 紀夫 議員

税の不納欠損額は過去10年で最低額となつているが、平成22年度以降、町民税の収入未済額は増加に転じ、平成26年度決算では5千万円を超えている。

今後の財政見通しについて財政推計を出すのか。また、来年度の予算はどのような考えで組もうとしているのか伺う。

高薄町長

今後の財政推計は予想がつきにくいですが、目安として出していく。

来年度予算は総合計画を見直し、老朽化した施設の改修や備品の更新、更には医療福祉分野で自

立・拡充していかなければならない部分、また、地域包括ケアシステムに伴う専門職員等の配置などを考えている。

スプレー缶の回収

原 紀夫 議員

スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベをこみとして出す場合のルールについて、「穴あけ不要」に変更する自治体が出てきている。製造会社でも使い切った後にガスが残っている可能性があり、穴あけは危険だと警告している。

本町は従前同様に町民に穴あけをお願いすることだが、消防署に持ち込むなど、将来、帯広の「くりのりんセンター」に移送することも含めて考えるべきではないか。

高薄町長

本町では現在不燃ごみとして取り扱っているが、

将来、十勝全体で集約することになっており、帯広市がどう対応するかによって変わる。帯広市の対応に合わせて取り扱いを検討する。

合同納骨塚建立に向けての進捗は

原 紀夫 議員

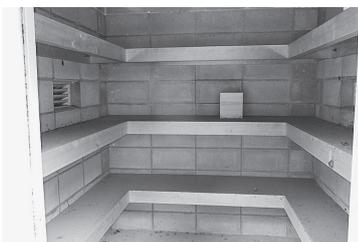
昨年12月議会で質問し、将来（2～3年先）の必要性について答弁いただいた。道内での建立は増加傾向にあり、町単独での建立を終えて受け入れているところもある。本町でも議会報告会や町民から進捗状況を問われることがある。

担当課から無縁仏を埋葬する施設の存在が確認でき、約100体分の骨箱が収容可能と聞いたが、今後どのような考えで進めようとしているのか伺う。

高薄町長

清水霊園の敷地内に使

用可能な納骨堂があることを確認した。これは、清水霊園を改修・拡充したときに建立したものであり、骨箱で約100体分置けるしつかりとした棚があることから、これを当面使用する方向で進めたい。



清水霊園にある納骨堂の中。骨箱を置く棚が備え付けられている。

管理職等の多人数退職への対応

原 紀夫 議員

来年は多くの職員が定年退職することになっているが、万全の体制で継続対応できるのか伺う。